

バイオマス利活用総合講座 第8回（平成22年度2回目）

開催案内

日時：平成23年2月7日(月)～9日(水)

場所：馬事畜産会館(東京都中央区新川2-6-16)

第8回バイオマス利活用総合講座 開催要領

社団法人日本有機資源協会

1. 名称	バイオマス利活用総合講座
2. 趣旨	<p>地球温暖化対策、生物多様性保全など、持続可能な循環型社会形成に向けた取り組みが進められる中で、「バイオマス・ニッポン総合戦略」の推進や「バイオマス活用推進基本法」の施行等を受けて、生物系廃棄物等のバイオマスを効果的かつ効率的に利活用することが全国的な、また、アジアを含めた世界的な課題となっています。</p> <p>バイオマスの利活用は、グリーン産業、静脈産業としても期待され関連技術の研究開発も盛んであり、特に持続可能な食料生産に資するコンポスト化や温室効果ガス排出量削減に資する電気や熱等へのエネルギー化などの分野では事業化が進んでいます。一方で、廃棄物系・未利用系を含めて、バイオマスは多種多様な資源であり、原料の収集や供給、変換技術、製品の流通と利用に至るまで多くの関係者が関わっており、持続的、安定的に製品やエネルギーを生産し利用するにはまだ多くの課題があります。</p> <p>社団法人日本有機資源協会は、「有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、持続可能な循環型社会の構築と環境保全に寄与する活動を推進する」ことを目的に設立され、「バイオマス・ニッポン」の構築・加速化に向けて様々な事業を展開しています。</p> <p>今般、普及啓発及び人材育成事業の一環として、バイオマス利活用全般についての知識の習得を目的に「バイオマス利活用総合講座」を開催することにしました。</p>
3. 研修の内容	<p>バイオマス利活用全般について必要とする知識の習得を目的として実施します。</p> <p>※ 講義内容：添付表 バイオマス利活用総合講座日程 参照</p>
4. 実施日程	<p>平成23年2月7日（月）～9日（水） <第9回は、平成23年4月以降にご案内します。></p>
5. 実施場所	<p>馬事畜産会館2階会議室（東京都中央区新川2-6-16） *添付地図参照 電話：03-3297-5618</p>
6. 受講資格	<p>受講時満20歳以上となる者</p>
7. 受講者定員	<p>40名とし、申込受け先着順で定員に達し次第締切ります。 ただし、各回とも受講者が10名を切る場合は開催を中止する場合があります。</p>
8. 受講申込方法	<p>平成23年1月31日（月）までに、添付の「バイオマス利活用総合講座受講申込書」および「選択受講申込書」に所要事項を記入し、FAXにて社団法人日本有機資源協会 事務局まで送付して下さい。受付完了確認後、第9項記載の受講料請求書をお届けいたしますので、到着後にお振込みをお願いします。</p> <p>なお、WORD版の申込書をご希望の方は第12項の事務局までご連絡願います。 社団法人日本有機資源協会 事務局 FAX 03-3297-5619</p>

<p>9. 受講料</p>	<p>本研修の受講料は下記のとおりです。なお、費用は前納としますが、特別の理由により、前納が困難のときは、社団法人日本有機資源協会が別途指示する方法により納入することができます。なお、受講料の対象となる費用は、聴講料、資料代であり、宿泊費及び食事代は含まれていません。(消費税込み)</p> <p>① 社団法人日本有機資源協会会員 参加者1人につき60,000円 (受講に合わせてご入会頂くことも可能です。)</p> <p>② 一般(非会員) 参加者1人につき75,000円</p> <p>なお、<u>日付毎あるいは講義毎に受講頂ける選択受講もできますので、詳しくは別添の「平成22年度研修事業「バイオマス利活用総合講座」の選択受講について」をご参照下さい。</u></p> <p>上記の受講料には含まれていませんが近隣ホテルを一例としてお知らせします。</p> <table data-bbox="518 862 1308 985"> <tr> <td>茅場町パールホテル</td> <td>03-3553-2211</td> </tr> <tr> <td>ホテルユニバース日本橋茅場町</td> <td>03-3668-7711</td> </tr> <tr> <td>ドーミーイン東京八丁堀</td> <td>03-5541-6700</td> </tr> </table>	茅場町パールホテル	03-3553-2211	ホテルユニバース日本橋茅場町	03-3668-7711	ドーミーイン東京八丁堀	03-5541-6700
茅場町パールホテル	03-3553-2211						
ホテルユニバース日本橋茅場町	03-3668-7711						
ドーミーイン東京八丁堀	03-5541-6700						
<p>10. 受講料納入方法</p>	<p>受講料は下記口座にお振込みください。</p> <p>銀行名：三井住友銀行 神田支店 銀行コード 0009 支店コード 219</p> <p>種別：普通預金 口座番号：2036073 口座名義：社団法人日本有機資源協会 シャ) ニホンユウキシゲンキョウカイ</p>						
<p>11. 受講者に対する本講座の効果</p>	<p>①本研修(3日間)修了者は、地域・職域におけるバイオマスの利活用について、必要な基本的知識を習得したことになり、社団法人日本有機資源協会によって「JORAバイオマスアドバイザー(初級)」として認定されます。</p> <p>②本研修における研修修了考査において所定の成績を収めた研修修了者は、コンポスト生産管理について基本的知識を習得したことを認め、社団法人日本有機資源協会が実施する「コンポスト生産管理者養成研修」受講資格を取得したことになります。</p> <p>③バイオマスタウンアドバイザーの新規受講予定者の知識習得としての事前受講やフォローアップ研修としてご活用頂けます。</p>						
<p>12. 本件連絡先</p>	<p>社団法人日本有機資源協会 事務局参与 菅原 良(すがわら りょう) 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館 401 号室 TEL: 03-3297-5618 FAX: 03-3297-5619 E-mail sugawara@jora.jp</p>						

第8回（平成22年度2回目）バイオマス利活用総合講座 日程（案）

開催日	時間	講習内容	
一日目 2月7日 (月)	12:45～	受付	
	13:00～13:10	オリエンテーション	事務局
	13:10～13:20	開講にあたっての挨拶	社団法人日本有機資源協会
	13:20～14:20	わが国のバイオマスを取り巻く現状	(予定)農林水産省
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～16:00	バイオマス概論	
	16:00～16:10	(休憩)	
	16:10～17:30	バイオマス変換・環境問題と微生物機能	
	17:30～19:00	(懇親会)	
二日目 2月8日 (火)	9:10～10:50	コンポストの製造と利活用	
	10:50～11:00	(休憩)	
	11:00～12:10	バイオマスプラスチック	
	12:10～13:00	(昼食)	
	13:00～14:20	炭化	
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:50	飼料化 ～エコフィード～	
	15:50～16:00	(休憩)	
	16:00～17:30	メタン発酵	
三日目 2月9日 (水)	9:10～10:30	バイオ燃料 ～バイオエタノール製造技術を中心に～	
	10:30～10:40	(休憩)	
	10:40～12:10	木質バイオマス	
	12:10～13:10	(昼食)	
	13:10～14:30	地域バイオマス利活用システム	
	14:30～14:40	(休憩)	
	14:40～15:00	バイオマス利活用に関する話題提供	
	15:00～16:00	研修修了考査	
	16:00～16:20	研修修了考査出題解説と意見交換	
	16:20～16:30	閉講にあたって	社団法人日本有機資源協会

* 講習順および講義時間は、現時点での予定です。

変更もあり得ますが、初日受付時間と最終日閉講時間は変わりません。

* 平成23年度開催予定の講座につきましても、この日程を基本として予定しております。

第7回バイオマス利活用総合講座 講義概要

番号	講義名(仮題)	概 要
1	わが国のバイオマスを取り巻く現状 (農林水産省<予定>)	「バイオマス・ニッポン総合戦略」や「バイオマス活用推進基本法」等のバイオマス利活用に関する施策や補助制度, バイオマスタウンやバイオ燃料など国内外に向けたバイオマス利活用の取組の最新情報, 等
2	バイオマス概論	バイオマスの種類と分類, 変換技術の種類・特徴(経済性)・課題, バイオマス利活用と地球温暖化防止(温室効果ガス削減), 最近の技術動向, 等
3	バイオマス変換・環境問題と微生物機能	バイオマス利活用と微生物機能, 微生物とは, 微生物利用の歴史と現状, 微生物機能を開発するためには, 微生物はどんな分野で利用されるか, 微生物と資源・エネルギー・環境との関わり, 等
4	コンポストの製造と利活用	コンポスト化とは, コンポスト化の原材料, コンポスト化の方式, コンポスト化の条件, コンポスト化における留意点, コンポスト製品の品質と施用における留意点, コンポスト利用の推進, 等
5	バイオマスプラスチック	バイオマスプラスチックとは, バイオマスプラスチックに関する検討経過, 生分解性プラスチックとバイオマスプラスチック, バイオマスマーク(認証システム), 技術動向, 課題と展望, 等
6	飼料化 ~エコフィード~	エコフィードシステムとは, エコフィードの必要性と可能性, エコフィード飼料化事業の類型と事例, エコフィードシステム構築の手順, エコフィード給与試験例, 等
7	炭化	炭化とは, 炭化炉の種類, 炭化の現状, 炭化物の機能(既往の活動成果), 炭化の問題点, 炭化技術の展望, 炭化に関する国際的な動向, 炭化と地球温暖化防止(炭素貯留), 等
8	メタン発酵	メタン発酵の原理および操作因子, 日本におけるメタン発酵事例, 海外におけるメタン発酵事例, 液肥およびコンポストの生産, メタン発酵を基幹施設としたバイオマスタウンの構築, 等
9	バイオ燃料 ~バイオエタノール製造技術 を中心に~	バイオ燃料とは, バイオ燃料製造の現状と将来展望, 原料と発酵微生物, 製造技術, 固体エタノール発酵法, 等
10	木質バイオマス	持続可能な社会と森林バイオマス, 木質バイオマスの利用方法, 木質バイオマスの利用事例, バイオマス導入の工夫, 新ビジネスモデル, 等
11	地域バイオマス利活用システム	地域バイオマス利活用システムの考え方, バイオマス資源化利用の現状と課題, 地域バイオマス利活用システムのケーススタディー, バイオマスタウン構想の策定方法と留意点, 等
12	バイオマス利活用に関する話題提供	社団法人日本有機資源協会が事務局を行っている, 日本バイオマス製品推進協議会, 全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会, リン資源リサイクル推進協議会等の各活動概要, 等
13	研修修了考査	各講義内容の習熟度を確保するための考査(50問程度)
14	研修修了考査出題解説と意見交換	研修修了考査の解答および解説とバイオマス利活用に関するフリーディスカッション

※ 番号は講義順とは異なります。

平成22年度バイオマス利活用総合講座 受講申込書（第8回）

社団法人日本有機資源協会 会長 殿

平成 年 月 日

(申込者 名)

印

開催日時		平成 年 月 日 () ~ 月 日 ()	
受 講 者	名	フリガ	生 年 月 日
			・平成 年 月 日 歳
	所 庁	都 区町	
	TEL	FAX	
	E-mail		
所 属 (勤 務) 先	フリガ	受講者所属 ・ 職	
	所 地 庁	都 区町	
	TEL	FAX	
	E-mail		
略 歴	歴 ・平成 年 月		
	職歴：実務		
・資格等			
に受講した バイオマス関連研修等		参加年月 ・ 催機関 ・ 行事名	

第8回（平成22年度2回目）バイオマス利活用総合講座 選択受講申込書

開催日	時間	講習内容	受講希望 (ご希望の講義に"○"を記入願います。)
一日目 2月7日 (月)	12:45～	受付	
	13:00～13:10	オリエンテーション	
	13:10～13:20	開講にあたっての挨拶	
	13:20～14:20	わが国のバイオマスを取り巻く現状	
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～16:00	バイオマス概論	
	16:00～16:10	(休憩)	
	16:10～17:30	バイオマス変換・環境問題と微生物機能	
	17:30～19:00	(懇親会)	
二日目 2月8日 (火)	9:10～10:50	コンポストの製造と利活用	
	10:50～11:00	(休憩)	
	11:00～12:10	バイオマスプラスチック	
	12:10～13:00	(昼食)	
	13:00～14:20	炭化	
	14:20～14:30	(休憩)	
	14:30～15:50	飼料化 ～エコフィード～	
	15:50～16:00	(休憩)	
	16:00～17:30	メタン発酵	
三日目 2月9日 (水)	9:10～10:30	バイオ燃料 ～バイオエタノール製造技術を中心に～	
	10:30～10:40	(休憩)	
	10:40～12:10	木質バイオマス	
	12:10～13:10	(昼食)	
	13:10～14:30	地域バイオマス利活用システム	
	14:30～14:40	(休憩)	
	14:40～15:00	バイオマス利活用に関する話題提供	
	15:00～16:00	研修修了考査	
	16:00～16:20	研修修了考査出題解説と意見交換	
	16:20～16:30	閉講にあたって	

* 講師、講習順および講義時間は、現時点での予定です。

変更もあり得ますが、初日受付時間と最終日閉講時間は変わりません。

* 平成23年度開催予定の講座につきましても、この日程を基本として予定しております。



〒104-0033
 東京都中央区新川2-6-16
 馬事畜産会館401
 TEL 03-3297-5618
 FAX 03-3297-5619

交通

JR京葉線 八丁堀駅
 B4出口(徒歩5分)
 地下鉄日比谷線
 八丁堀駅 A4出口(徒歩5分)
 茅場町駅 1番出口または2番出口
 地下鉄東西線
 茅場町駅 3番出口(徒歩5分)

バス停は「新川」です。

東京駅八重洲南口バス乗り場より
 東12「晴海埠頭」行き
 東15「深川車庫前」行き
 東16「東京ビッグサイト」行き
 「住友ツインビル」行き
 をご利用下さい。



平成22年10月19日

各

社団法人日本有機資源協会

平成22年 研修事業 「バイオマス利活用総合講座」の選択受講について

社団法人日本有機資源協会では、平成22年 研修事業のうち「バイオマス利活用総合講座」を平成23年2月7日（月）～9日（ ）に実施するにあたりまして、第7回講座の受講生を広く集しております。

バイオマス利活用総合講座は、バイオマス利活用における各変換技術について、識者や の方に しくご講義頂く構成としており、3日間の受講により、

①社団法人日本有機資源協会の「JORAバイオマスアドバイザー（初級）」として認定

②社団法人日本有機資源協会が実施する「コンポスト生産管理者養成研修」受講資格を取得

することができます。

しかし、「受講したいが、都合により1日あるいは2日しか参加できない」「 技術と 技術についてのみ選択して受講したい」等のご要 があることから、今般、下記の通り講義を選択して受講できるように対 いたします。

つきましては、 に都合により受講できなかった講義がある方、バイオマスタウンアドバイザーの方で特定の技術について 識を めたい方 、多くの方に受講頂ければ います。

●分割受講要領（別添の「選択受講申込書」にてお申し込み願います。）

1. 通常受講

- ・全講義受講の場合は、通 の方法でお申し込み願います。
- ・受講料は別表を参照願います。

2. 一日受講

- ・特定の一日のみの受講ができます。 日であれ 、必要な講義のみ（ ）～ 日の受講が可能です。
- ・資料は 日分のみ いたします。
- ・受講料は別表を参照願います。

3. 限定単元参加

- ・ 定した のみ受講できます。
- ・資料は 分のみ いたします。
- ・受講料は別表を参照願います。

4. 資格

- ・通 受講で修了された方には「JORAバイオマスアドバイザー（初級）」の認定および「コンポスト生産管理者養成研修」の受講資格が与られますが、2または3で受講された方には付与されません。

5. その他

- ・講 と講義日程については、（案）の 階で入れておりますが、近日中に確定いたします。
- ・事前に 講義をお申し出いただければ、確定時に連絡させていただきます。

（別表）平成22年度研修事業「バイオマス利活用総合講座」受講料一覧

番号	受講方法	JORA会員 バイオマスタウンアドバイザー	一般（非会員）
1	全講義受講	60,000 円	75,000 円
2	初日	16,000 円／日 （懇親会費込）	20,000 円／日 （懇親会費込）
	二日目	32,000 円／日	40,000 円／日
	三日目	20,000 円／日	25,000 円／日
3	限定単元参加	8,000 円／一単元	10,000 円／一単元

6. 連絡先

ご 等、本件につきましては下記までご連絡願います。

社団法人日本有機資源協会 事務局 参与 菅原 良（すがわら りょう）

TEL: 03-3297-5618 FAX: 03-3297-5619

E-mail: sugawara@jora.jp

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館401号室